

キャラクター名 “白哲の魔弾騎士”クーボリア・スィーキ	プレイヤー名
--------------------------------	--------

種族	ハイマン	種族特徴	デジャヴ、魔法の申し子		
生まれ	学者	性別	女性	年齢	15歳
冒険者Lv	11	経歴	告白されたことがある（一緒の集落に住む人族の少年、アーサー・クレイン） 役に立たない知識を持っている（デジャヴで見る前世の記憶をはっきりと認識出来る） 誰かを救ったことがある（告白してきた人族の少年を人間不信から救った）		
経験点	4230				

技	7	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	10	1	12	30	5				
体	5	敏捷度	4		7	18	3	マジテック	6		
		筋力	6		5	16 + 2	3	レンジャー	1		
心	15	生命力	3		1	9	1	セージ	7		
		知力	6	1	12	34 + 2	6	エンハンサー	1		
		精神力	6	0	6	27	4	ライダー	6		

戦闘特技		言語	会話	読文
鋭い目	2120 p	エルフ語	○	
弱点看破	2121 p	交易共通語	○	○
精密射撃	218 p	ドレイク語	○	
鷹の目	219 p	ドワーフ語	○	
武器習熟/ガン	221 p	汎用蛮族語	○	○
武器習熟II/ガン	221 p	魔動機文明語	○	○
命中強化	2124 p	魔法文明語	○	○
命中強化II	3145 p	シャドウ語	○	
	p	バジリスク語	○	
	p			
	p			

練技/呪歌/騎芸/賦術	
キャッツアイ	
ビートルスキン	
チャージ	
HP強化	
騎獣強化	
人馬一体	
特殊能力解放	
攻撃阻害	
HP超強化	

技能	基本	基本	基本	基本追加
	レベル	命中力	回避力	ダメージ
ファイター	0			
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	11	16	14	14

鎧と盾	必要	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	白亜のハードレザー		16	0	6
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能		合計値	0	6	

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
オルクリスト	2H	10		2d+ 18	11	17												
専用デンプスト 射程30m、装填6、ダメージ+1 魔法の武器+1 (威力、命中に+1)、専用武器 器用度+2																		
グラムドリング	2H	15		2d+ 18	11	17												
専用カルネージII 射程40m、装填4、ダメージ+4、魔法の武器+1 (威力、命中に+1)、専用武器 器用度+2																		
				2d+														
				2d+														
				2d+														
				2d+														
				2d+														
				2d+														

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	18 m	54 m	2d+ 0	6	42

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 13	2d+ 0	2d+ 12	2d+ 15	45

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
魔動機術	6	14			

装備品	説明
頭	
耳 白い羽根の耳飾り	告白された相手から贈られた物、贈り物故値段は不明
顔 ひらめき眼鏡	見識判定と探索判定に+1
首 マギスフィア小	クイックローダーオプション+400G
背中 マギスフィア(中)	オートガードオプション+400G、ワークネスオプション+600G
右手 怪力の腕輪	
腰 マギスフィア小	ソリッドバレットオプション+100G
足 バレットポーチ	弾丸24発まで収納
その他	

装備品	説明
左手 知力の腕輪	
マギスフィア大	ヒールアップオプション+200G、クリティカルヒットオプション+200G、カメオオプション+500G

その他メモ	自動失敗
ハイマンの女性冒険者、元々は小さなハイマンの集落にて育てられていたが好奇心から集落を飛び出して冒険者になる。集落では学者として色々な事を学習、勉強をしており特に魔動機文明に対しての知識は集落の中でもそこそこ抜きんできていた。彼女はハイマンとしては異色で前世の記憶を断片的ではなく、ほぼ全ての内容を覚えている状態で思い出すことが出来る。(ただしデジャヴの判定は通常通り一日に一回のみ)	チェック
さらに彼女はこっちは断片的にだったがその魂が辿った更に前世、前前世、前前前世と殆ど全ての記憶を覗き見ることが出来た。短い命という現実から、彼女は魂の辿った数多の記憶に惹かれて一種の不揃いな短編集のようなこの世界に生きる者の生を愛する様になる。	□□□□⑤
両親は既に他界して集落の大人衆に育てられていた。彼女も15歳の成人になれば他の大人衆と共に子供の世話をしなければならなくなる。	□□□□⑩
	□□□□⑮
	□□□□⑳
	□□□□㉑
	□□□□㉒
	□□□□㉓
	□□□□㉔
	□□□□㉕

